

## 令和5年度 第4回八幡地域協議会会議録

日 時 令和5年11月28日(火) 午後6時30分～午後8時00分  
場 所 八幡タウンセンター 第3・第4会議室  
出席委員 12名  
1号委員 土井 礼子 池田 洋 小松 茂 佐々木慶則  
佐藤 良平 後藤 正一 阿部 彩人 池田 修  
加藤 隆子 小野 良文  
2号委員 池田 満好 信夫 効次  
欠席委員 2名  
1号委員 池田 義則 御船 浩弥  
(事務局) 八幡総合支所長 池田 裕子 支所長補佐 加藤 裕昭、土門 邦廣  
(傍聴者) なし

議事日程 1 開 会  
2 会議録署名委員の指名  
3 協議  
(1) 市長報告会 提言内容について  
・ 前回会議の振り返り  
・ 提言の方向性、提言内容の決定  
4 その他  
5 閉 会

### 【協議の概略及びその結果】

今回は、2月20日(火)に開催される「令和5年度地域協議会市長報告会」に提出する八幡地域協議会としての提言内容について議論を行った。

『鳥海家族旅行村の整備について(鳥海山・飛島ジオパーク、八幡地域の特性をいかしたものの)』『人口減少・高齢化でも安心して暮らせる策(協働)について(交通問題、デマンドタクシーなど)』『移住、定住、空き家対策について』『八幡地域「わぐわぐ」未来会議&交流会の開催について』『風力発電に頼らず、火力発電に力を入れることはできないものか』のテーマがあげられた。最終的に会長、副会長、事務局に取りまとめを一任される。

取りまとめられた内容は、後日委員全員に書面で報告し、市長報告会へ提出することとした。

### 1 開 会

○信夫 効次 副会長

欠席の連絡なし。18時30分現在、出席者12名、欠席者2名。本会議の成立を確認。

## 2 会議録署名人指名

小松 茂 委員 より了解いただく。

## 3 あいさつ

### ○池田 満好 会長

令和5年も、今年を表す漢字一文字が発表される季節になった。昨年の漢字は、ロシアがウクライナに侵攻したことから戦争の『戦』という文字だった。令和3年は東京オリンピックの関係から『金』。さらにその前年、令和2年は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け『密』。今年の漢字一文字は何になるものか。温暖化の関係から『温』または『暑』、物不足の『物』か、物価高の『高』あたりではないか。最近話題となっているアーバンベアの関係から『熊』という漢字もあるのかもしれない。今年は、クマに襲われる被害件数が100件近い。私が若いころには町には熊などは出現しなかった。非常に変わった年になってきている。本日は、来年の2月末に開催される、市長報告会の提言内容を協議することになる。協力をお願いする。

## 4 協 議

### ○議長(池田 満好 会長)

まず、前回第3回会議での振り返りを行い、引き続き、提言の方向性を定め協議を行う。まずは、事務局より振り返り及び提言の方向性について、一括で説明願う。

### ○事務局(土門邦廣)

前回第3回会議でのブレインストーミングで、委員の皆様の共通認識としてあげられたものは、以下のとおり。

「光るもの」

- 鳥海山・玉簾の滝・荒瀬川・田園風景などの「自然環境や里山の風景」
- 奴振り・福山神楽・青沢獅子踊りなどの「伝統文化」
- おいしい水・米・日本酒・山菜など「食べ物」

「あったらいいもの」

- 「交通手段の改善」に関する事項
- 「耕作放棄地の再生や既存施設（空き家対策を含む）の再利用」
- 「獣肉(ジビエ)の加工処理施設や食べ物」
- 「働く場所」
- キャンプ場やオートキャンプ場、フィールドアスレチック、自然環境を生かしての養殖場

「提言の方向性」として、事務局より次の3つを提案。

- これまでの提言を繰り返して提言  
これまで行ってきた地域からの提言を繰り返し行い、地域の課題解決を図る。
- これまで行ってない地域の課題を提言  
前回会議で取り上げられた『教育』『福祉』『介護』『買い物弱』『交通の問題』『除雪等の問題』など八幡地域だけでなく、他地域でも問題になっているテーマを取り

上げ、新しい提言を行う。

●案1、案2以外

日頃考えている「この件については、こうすれば問題が解決するのではないか」というものを起案。

これまでの協議内容を踏まえ、各委員が酒田市長に提言したいテーマを書き出し、取りまとめることで、八幡地域協議会の提言内容としたい。

○池田 洋 委員

各地域から市長に提言する時間はどの程度か。また、報告会の時間はどの程度か。

○事務局(土門邦廣)

一地域あたり質疑を含め20分程度。報告会自体は1時間半から2時間。各地域からの提言が20分×3地域で1時間。その後、市長と各地域協議会の正副会長とで意見交換を実施。

○池田 洋 委員

市長は、これまでの経緯や提言内容についてご存じか。

「何がどこまで出来ていて、何が積み残しになっているか」といった報告はされているか。

○事務局(土門邦廣)

現市長が副市長だった2年前に市長報告会へ出席している。過去全てという訳ではないが、ある程度把握されているものと思われる。

○池田 洋 委員

今回の提言内容については、過去からの継続性を市長がどの程度内容として把握しているかにより異なるものとする。

市長の所信表明にある「人口が減少しても、安心して暮らせるまち」というテーマには、矛盾が含まれているのではないかと考える。普通に考えれば人口が減少すれば税収が減少し、市が政策に利用できる財源が少なくなる。解決方法を市長はどのように考えているものか。

○事務局(土門邦廣)

解決方法の一つとして、AIやデジタル技術を活用した人員不足の解消、市民との協働などを考えているものと思う。

—各委員より提言したいテーマを回収—

○議長(池田 満好 会長)

提言したいテーマに関して、以下の5点があげられた。

- 鳥海家族旅行村の整備について 7名  
※鳥海山・飛島ジオパーク、八幡地域の無特性をいかしたもの
- 人口減少・高齢化でも安心して暮らせる策(協働)について 2名  
※交通(デマンドタクシー)
- 移住、定住、空き家対策について 1名

- 八幡地域「わぐわぐ」未来会議&交流会の開催について 1名
- 風力発電に頼らず、火力発電に力を入れることはできないものか 1名

市長報告会では、説明時間等の関係から3つ程度に集約させたい。

各地域からの提言後、意見交換の際に提言できなかった内容についても、意見交換の際に市長に伝えたいと思う。

「鳥海家族旅行村の整備について」「人口減少・高齢化でも安心して暮らせる策(協働)について」は、報告会での提言として良いものか。

(発言等なし)

#### ○事務局(土門邦廣)

各委員よりテーマを取り上げた理由について発言いただき、その後にテーマを確定しては如何か。

#### ○議長(池田 満好 会長)

番号順に各委員より発言願う。

#### ○土井 礼子 委員

『交通の問題』を取り上げたい。高齢者の集いで「交通の面で不便」との話が出される。デンドタクシーがとても不便。手続きなどに時間がかかり「外出がおっくうになる」とのこと。

移動する際、地域で協力し合えるような取り組みは出来ないものか。

#### ○池田 洋 委員

総花的なテーマとなるが、市長の所信表明にある『人口減少・高齢者でも安心して暮らせる策(協働)』とした。人口減少による市の収入減少を補うためには市民との協働が不可欠。

高齢化・過疎化に伴い「通院や買い物など交通弱者の問題」「除雪や空き家の問題」「耕作放棄地の問題」がより顕著なものになる。豊かな食を活用してふるさと納税を増やす。ライドシェアなど新しい政策の積極的な導入が必要。

#### ○小松 茂 委員

『八幡地域の特性を生かした活動を発展させる』というテーマにした。八幡地域には「豊かな自然」「伝統文化」「おいしい食べ物」がある。それらとふれあい、開発補助することで、八幡地域の特性を生かし、酒田市全体が豊かな生活を送れるようなものとした。

#### ○佐々木 慶則 委員

八幡地域民としてではなく酒田市民として『風力と火力発電』について提言したい。世界に誇る日本の火力発電技術を閉ざす必要はないのではないか。不安定な風力発電に向けて巨額の税金を投じるのはいかがなものか。日本の火力発電技術は進んでおり、概して二酸化炭素排出量の心配が少ない。酒田市は火力発電を進め、無駄な風力発電、洋上風力発電などは中止し、洋上風力発電に投じる財源を火力発電やほかの財源に回してもらいたい。

#### ○佐藤 良平 委員

『移住、定住、空き家対策』について。率直に人がいないことには何もできない。地域が

成り立たない。現在の酒田市の移住・定住対策、空き家対策は良くわからない。何をしているのかが見えてこない。

遊佐町は一生懸命であり、対策が解りやすい。ホームページなどで情報検索すればその違いがすぐにわかるのではないか。

まず、定住者数や移住者数ではなく、移住率や定住率で表してほしい。

また、移住や定住の成功例をもっと前面に出してPRしてほしい。

誰でも良いので移住・定住して欲しいではなく、ターゲットを絞り、地域の良さを知っている方にPRをおこない、そのつながりを使って地域の良さを伝えるなどの方法もあるのではないか。目先を変えて対策をとった方が良い。

全国各地で同じような移住・定住対策を取っている。他地域と同じ様な対策で、酒田市民から見ても解りにくいPR方法では効果はあまり期待できないのではないか。

### ○後藤 正一 委員

『デマンドタクシーの土日祝日の利用』について取り上げたい。「平日以外にどうしても利用したい」との意見が地元から出されている。高齢者の方からも「私たちでも、土・日・祝日にでかけたい時があるんだよ」との切実な声が聞かれる。利便性などの問題もあり検討願いたい。

### ○阿部 彩人 委員

テーマとして『八幡地域「わぐわぐ」未来会議&交流会の開催』を提言したい。

遊佐町では「学生達による議会開催」や「若者の力で遊佐の未来を創ろう」といった学生達により遊佐町の政策を語り合い、その提言を実際の政策に取り入れ町政を動かしていく機会が作られている。

酒田市では「若者の意見を吸い上げて市政に反映させていく」といった動きがまだまだこれからであり、八幡地域内で小学生から30代・40代ぐらいまでの若者が一堂に会し「世代を超えて八幡地域の未来をかたる場」「楽しく交流する場」が今までなかったのではないか。

世代を超えてわくわくするような八幡の未来を語り、酒田市に対する提案や企画、アイデアを出して形にして行けるような機会を作ることで、今後の新しい八幡の未来をつくるきっかけづくりが生まれてくるものと考えます。

### ○池田 修 委員

一貫して『鳥海家族旅行村周辺の整備』を提言したい。せっかく観光資源があるのに集客が出来ていない。

原因の一つとして、管理棟の営業問題があげられる。平日、定休日を含め冬季間は閉鎖。せっかく雪があるのにその資源を生かしていない。雪がない地域の方は、雪を楽しみにしており、雪を目的に旅行する人もいる。物販コーナーやレストランがあっても何も利用していない。

様々整備して欲しい部分はあるが、特に管理棟のレストラン部分については力を入れて欲しい。現在の風潮として、交通の便が悪いところでも「おいしい食べ物」があれば行列ができることがある。例えば、山頂にあるおいしいパン屋を目的に山登りをしたり、卵かけご飯だけで行列ができるなど。

また、なかなか難しいだろうと思うが管理棟の物販コーナーにしても、キャンプ場があるのでスノーピークのようなアウトドア用品のメーカーからテナントに入ってもらい、キャン

プ用品の販売や貸し出しなどを担当してもらうなどの方法もある。もう少し時代を考えて中身を見直して欲しい。

様々な考えはあるのが、とりあえず管理棟のレストラン、物販コーナーだけでもきちんと営業して欲しい。集客に関しても、黙っていても集客できる訳ではない。観光客を受け入れるための年間行事を検討し、集客を図ることで地域の活性化にも結び付くものと思う。

八幡地域は鳥海山がメイン。一次産業がガタガタであることから、地域を活性化するためのテコ入れが必要。老朽化の問題はあるもが、できるところから対応いただきたい。

#### ○加藤 隆子 委員

同様に『鳥海家族旅行村の施設改築(整備)について』提言したい。豊かな自然を利用したキャンプ場、アスレチック、サイクリングロードなどを作り、観光客を誘致して利益をもたらしてもらいたい。

また、未来を担う子ども達に鳥海家族旅行村で開催される様々なイベントを体験してもらうことで、地元の素晴らしさを感じてもらいたい。知識を育める場所にして欲しい。

#### ○小野 良文 委員

『鳥海家族旅行村の整備とキャンプ場』を取り上げたい。特にキャンプ場の整備。最近キャンプをする芸人の方などが増え、TVなどでもキャンプの番組が増加。キャンプをする若者が増えてきている。吹浦などシーズンになると人がいっぱい、キャンプできないなどの声も聞かれる。旅行村の敷地内に立派なキャンプ場を整備してもらい、キャンプ場として有名になって欲しい。

#### ○議長(池田 満好 会長)

以上の発言を踏まえ、事務局より何か提案は無いものか。

例えば、鳥海家族旅行村とジオパークは自然・観光。空き家対策と移住定住、人口減少を一つにまとめるなど考えられると思うが、如何か。

また、家族で子供たちが遊べる場所がない。そういったものを自然や家族旅行村整備などにまとめ、若者たちによる未来に関すること、デマンドタクシーや高齢化・過疎化対策などの3つになるのではないだろうか。

#### ○信夫 効次 副会長

『鳥海家族旅行村の整備』『デマンドタクシーなど交通関係』を含めて2つは確定としたい。

阿部彩人委員から発言のあった『八幡地域「わぐわぐ」未来会議&交流会の開催』は素晴らしいと思う。こういった「若者の意見を吸い上げて市政に反映させていく」といった活動はある程度規模が小さくないとは成功しない。そういった意味で遊佐町は成功している。

自分たちで独自にやれるかもしれないが、酒田市からの応援という意味では、十分に提言として成立するのではないか。これまで、このような提言をしたことはない。この内容を考えればこの件を提言しなければもったいない。

#### ○議長(池田 満好 会長)

3つの提言の中に、できる限りこれらすべてを取りまとめたいと考える。提言にまとめきれなかったものについては、必ず意見交換の場で市長に伝える。

### ○事務局(池田裕子 支所長)

様々な意見をいただいた。再度、各委員記載の用紙を確認し、事務局でまとめていく。

一番多かった鳥海山周辺・家族旅行村については提言しても良いと思う。具体的な文言を入れ提言したほうが良い。また、人口減少については総花的に全て提言すべきか、デマンドタクシーの土日利用などといった実現が強く望まれている部分を提言していくかなど、提言方法についても検討の必要がある。「若者の意見」については、市長が最もやりたい部分だと思う。提案すればすぐに「モデル的に取り組んでいただきたい」などの反応がある可能性も考えられる。支所では勿論協力するが、市側から職員や財政面での支援に関しては不確定。

### ○信夫 効次 副会長

素案が決定した段階で、事前に各委員へ通知いただき、地域協議会全員の提言としたい。まとめるのは事務局をはじめ、会長や私なりになるものと思う。それでよろしいか。

### ○事務局(土門邦廣)

提言については、「八幡の自然の活用に関して」「人口減少対策、高齢者対策」「若者の意見の活用」とし、『洋上風力発電』については意見交換の際に、この様な意見もあった旨の報告といった形になるものとする。

### ○議長(池田 満好 会長)

大まかに分ければそのような形になるのではないかと思う。

ただし、各委員からお聞きした内容を含ませながら内容を決めていく必要がある。

### ○事務局(池田裕子 支所長)

大きな方向としては、その3つに絞る方向で如何か。

### ○佐藤 良平 委員

本来はもっと様々なことを発言したいのだが、事務局側は我々八幡地域の協議会に対し絶えず「予算はないが、様々な意見を出して欲しい」という。今取りまとめた方向性に対して予算はあるものか。予算があって実現できるのだとしたら、まず事務局側が私たちの味方になって「予算があるので、この件は実現できそう」というものをあげて欲しい。そういったものがあればそれを何でも提言すれば良い。予算がないものを提言して「いい案ですね」と言われても何もならない。今まで実現された提言がどれだけあるのか。予算がつかず、実現されないものをいくら話し合っても意味がない。提案する意味がない。予算がないなら、提言なしでも同じことではないか。

### ○事務局(土門邦廣)

提言というのは「問題を解決するための方策」ではないか。予算という側面は多分にあるかと考えるが、意見聴取することは必要と考える。

### ○佐藤 良平 委員

聴取した意見を、行政サイドでいろいろ検討し、実現して欲しい。

### ○池田 修 委員

予算の問題という話があった。さまざまな問題はあるものと思う。

現在日向地区には地域おこし協力隊の隊員がない。例えば、もう一度地域おこし協力隊の隊員を日向地区で募集し、家族旅行村などに居住させ、PRや集客するための企画を検討することは可能か。キャンプ好きの方であれば、予算はあまりかけず、来てくれた方・地域双方にとってのメリットもある。新年度にでも、再度募集して欲しい。

### ○事務局(池田裕子 支所長)

日向地区の地域おこし協力隊は、昨年度より途切れなく募集している状況。

### ○阿部 彩人 委員

家族旅行村についての件は賛成。10月に開催した「芸術祭のプレイベント」では約800名が来場。アーティyatや来客者より「雰囲気は最高」などと家族旅行村の可能性を高く評価いただいた。「活用方法を若い人たちが中心になって考える」という機運は必要と考える。個人的にも協力は惜しまない。

### ○議長(池田 満好 会長)

各委員より記入いただいた用紙を回収願う。

### —各委員よりの提言を回収—

### ○池田 洋 委員

提言の際は、オンデマンドタクシーとライドシェア等を一緒に提言を願う。

### ○議長(池田 満好 会長)

各委員からの意見を事務局と私、副会長で3つにまとめ、確認のため各委員に原案を配布する。それ以外の意見は市長報告会で伝えることとしたい。

了承の発言あり。

## 5 その他

### ○事務局(土門邦廣)

市長報告会の日程、2月20日(火)午後2時ごろからを予定。

## 6 閉会

### ○信夫効次 副会長

各委員からの発言は市長報告会で報告していきたい。ご苦労様でした。